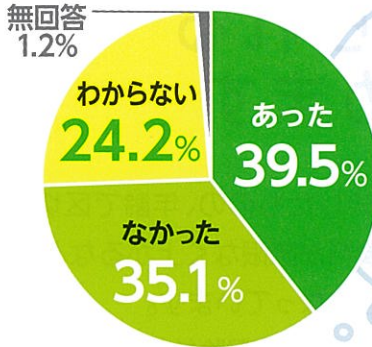


先進国では無料があたりまえです

お金がなくて、必要な治療がうけられない

子どもとお年寄りの
窓口負担は無料に、
現役世代の3割負担は、
せめて2割に、
今すぐ改善
すべきです。



Q.この半年間に、主に
経済的理由から、治療を中
断または中止する事例が
ありましたか？

回答数:3242医療機関
全国保険医団体連合会調べ(2010.6月)

安心の医療 をつくる。

患者窓口負担の大幅軽減を



高齢者医療の充実のためには、
減り続ける国民健康保険への
国庫負担を増やし、国保財政を
立て直すこと
が必要です。



公約通り、すみやかな廃止を

さらに被害をひろげる「新制度案」

厚労省は、2013年4月実施を予定している
新しい高齢者医療制度案の「中間取りまとめ」を示しました。

- 📋 高齢者の医療費は別会計
- 📋 保険料の自動的な上昇 (医療費が保険料に
直接反映する仕組み)
- 📋 増える患者負担 減る国庫負担

「廃止よりは
修正に近い」
毎日新聞7/24

高齢者
医療制度

「日本の医療の立て直しは国の負担で！」

署名にご協力ください。

患者・利用者負担を大幅に軽減し、 いつでも安心して受けられる 医療・介護の実現を求めます

請願趣旨

働く人の3分の1が非正規雇用という状況のもと、医科・歯科医療機関の4割で経済的理由による受診中断・中止が起きています。先進国では医療の窓口負担は無料が当たり前です。日本も無料をめざして、窓口負担の引き下げをすべきです。高額な国民健康保険料(税)が払えないために、無保険状態に追い込まれる事例が増加しています。

高齢者を年齢で差別する「姥捨て山」と怒りが集めた後期高齢者医療制度では、8月末に厚生労働

省が見直し案を発表したものの、年齢で区切る仕組みや高齢者の保険料が際限なく上がるなど、今の制度を引き継ぐものとなっています。

介護保険については、介護保険給付の削減や保険料・利用料の引き上げなどが検討されています。

誰もが安心して受けられる医療・介護保険制度にするために、今こそ、国の財政構造を抜本的に見直して、社会保障費の拡大に大きく舵を切るべきときです。ぜひ、以下事項の実現をよろしくお願いします。

請願項目

- 一、患者の医療費窓口負担を大幅に軽減してください。
- 一、高齢者を差別する後期高齢者医療制度は直ちに廃止し、高齢者が安心して医療が受けられる制度にしてください。
- 一、高すぎる国保保険料(税)を引き下げてください。国保や後期高齢者医療制度の保険料を払えない人から、保険証を取り上げないでください。
- 一、家事援助や軽度要介護者の給付削減や利用料の引き上げをやめ、必要な介護サービスを安心して受けられる介護保険制度にしてください。

お名前	ご住所